

# 46・感染予防と情報発信

原町幼稚園園長 鶴谷主一（静岡県沼津市）

ちょうど1年前のマガジンでは、「**コロナ休園から再開へ**」という文章でレポートしていました。デルタ株の広がりにより子どもにも感染が広がってきていますので、感染が発生したときにどう教育活動を制限するか、という1年前と真逆な状況になっているように感じます。

安倍総理が実施した学校の全国一斉休校の反省をもとに、文科省はできるだけ教育を継続させる方向でリモート授業などを推奨しつつ学級閉鎖や休校は最終的には施設長の判断、という文書を送ってきました（8/27付）。

学校はリモート授業は出来るけど、学級や部活での人間関係や人生経験の部分はなかなかフォローできないですね。幼児教育はまさにリモートで補えない部分「直接体験」での学習が主になるので、「コロナで我慢しよう」と言われることの多くが我慢ではなく成長発達の「機会の喪失」とも言えます。

私たちは、**目の前に迫る危機と将来の危機**の二つを見据えて対応しなければならないのですが、将来の危機は、幼児教育で大切と言われている「**非認知能力**」の発達が保証されているか、ということ懸念します。非認知だけに、目に見えにくいのが難しいところ…コロナ禍で活動を制限することで、どれだけ非認知能力の獲得ができなかったのか、という客観的なバロメーターがないので、つつい置いてけぼりになって、目の前の危機だけに過剰に対応するようなことも生まれてきてしまいます。

そうはいつても、一旦コロナ感染が園内で広がれば命の危機にも繋がるので、おろそかにはできません。その板挟みでどの教育者も悩んでいるのが現状です。

思いを書けば書くほど板挟みの底なし沼に落ちていきそうなので、今回は、具体的に現状をレポートしたいと思います。

## ■感染情報をどう出すか

じつは先週（このマガジンが発行されることには1ヶ月以上前の話になります）隣接する保育園で園児が陽性になって、2学期を8/18からスタートしたばかりの幼稚園も、情報を確認してメール連絡しました。それが次の文章です。

### 《幼稚園で発出した第一報 8/24.19:20》

#### 緊急連絡・登園自粛のお願い

先ほど原町保育園において、新型コロナウイルス感染症の疑いがある関係者が確認されました。保育園と保健所の調整の結果、今夜園内消毒を完了し、明日は通常開園するという事です。

幼稚園児との接触は園庭で保育園児や職員とすれ違う程度で一緒に活動を行う時間などはありませんでしたので、濃厚接触は確認できませんでしたが、念のため、できる方は登園自粛をお願い致します。バスは通常運行です。（後略）

◎自らに非がなく感染した患者とご家族の人権尊重と個人情報の保護に、最大限のご理解とご配慮をお願い致します。また、不確かな情報に惑わされず、正確な情報に基づいた冷静な行動をお願い致します。園長

第一報は、保育園が出した文章を元に作成したのですが、「誹謗中傷や犯人探し防止のため“陽性”とは書かないのが通常」という市の担当課のアドバイスを受けたあやふやな文章でした。幼稚園もそれに準じて上のような文章になりました。しかし保護者からの質問も相次ぎ、これでは危機感も真意も伝わらないということで、第二報は次のような文章を作成しました。

(前略) 24日に、本園において、新型コロナウイルス感染症の「疑いがある関係者が確認されました」と報告いたしましたが、誹謗中傷を避けようとオブラートに包んだ表現になっており、事実が正確に伝わらなかったことをお詫び致します。正確には、下の表の通り園児の陽性連絡を受けての連絡でした。24日のうちに保健所との調整の結果濃厚接触者と特定されたご家庭には個々に連絡をして2週間の自宅待機をして頂いています。(全員昨日の検査で陰性を確認)皆様の参考になるように、これまでの経緯をまとめましたが感染ルート特定するとか犯人捜しをするためのものではなく、感染の発見がいかに困難なものであるかを見て頂くためです。くれぐれも世間話で広げる性質のものではないことをご理解下さい。

月	火	水	木	金	土
8/16	17	18	19	20 ①欠席	21 ①納涼欠席・家族3人陽性診断。園児は無症状のため検査なし
23 ①園児欠席継続 ②園児登園→夜発熱→平熱に戻ったが念のため翌日検査	24 ②園児欠席→陽性診断→(濃厚接触者に連絡) ③園児登園夕方発熱	25 ③園児発熱欠席	26 ②家族陽性診断 ③園児欠席→陽性診断→(濃厚接触者に連絡)	27 登園乳児30人 登園幼児25人	28

経緯を見て頂いてお分かりのように、園児②と③の接触があれば月曜日しかありません。ただ、症状が出ていない段階なので感染の有無は特定できません。国(厚労省)から、感染発生時には該当児の家庭保育を要請し、保育園は基本的に開園することとされています。もちろん保育が必要な家庭を支援することは私たちの責任ですので、全面的に休園することは現時点では考えていません。(全職員の陰性は抗原検査キットにより確認済みです)

ただ、ご覧いただいたようにウイルスがデルタ株に変異している状況では、子どもたちに、無症状のうちに感染が広がります。家庭保育が可能な方はできる限りご協力をお願い致します。

この連絡後に、保育園の登園児も約半分に減りました。(幼稚園は既に10%のみ登園)

誹謗中傷は主に学校など価値観の多様な幅広い方々の集う施設で、一部の方により行政に対して向けられるものなのかな、と思うのですが、この情報を出して園に対してバッシングなどはありませんでした。「情報は事実を早く！しかるべきところから発信！」が肝要だと思いました。



## ■ガイドライン作成

8/27に文科省から送られてきた「学校で児童生徒等や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドラインの送付について」という長いタイトルの付いた文書によると、ざっくり「感染が出たときの対応はそれぞれ施設で決めて保護者に周知しといてくれ！」という概要だったので、丸投げ感はあるけど実情に合わない規定に縛られるよりは良いと思って、ほぼ2日かけて保護者向けガイドラインを作成しました。コロナの感染予防には特効薬はなく、保護者の協力が不可欠です。子どもたちが園でのびのびと活動するためには、家庭での感染対策が要になります。そういう思いを込めて作成しました。「幼稚園型認定こども園≒幼稚園」の立場でのガイドラインとなりますが、参考になれば幸いです。

## 原町幼稚園

# 新型コロナウイルス感染拡大防止・対応指針

①～⑤の表は該当の状況になったときに参照してください。

2021年9月1日

原町幼稚園 園長 鶴谷圭一

新型コロナウイルス・デルタ株の広がりにより、子どもにも感染しやすい状況になり、症状が出る前に感染する例も散見され、これまでとは状況が変わってきました。今まで対応してきた内容をまとめ、今後の行動指針も決めました。この対応指針（ガイドライン）は登園する子どもたちの安全を確保し、皆が安心して通園するための基準として設定しました。厳しい面もあると思いますが、現在の局面を考慮しての対応です。今後緩和されれば改定いたします。いまいちど感染拡大防止にご協力下さい。

### ①子どもにこんな症状が見られたら

1	元気がなく明らかに体調がすぐれない	出席停止・早退	症状が改善するまで
2	味覚・嗅覚の異常、倦怠感がある	出席停止・早退	症状が改善するまで
3	咳や鼻水が多く出ている	出席停止・早退	症状が改善するまで
4	37.5度以上の発熱がある	出席停止・早退	解熱後3日出席停止

### ②園児と日常的に接触する家族や親族にこんな症状・状況がみられたら

1	発熱（37.5度以上）の症状がある	出席停止	症状が改善するまで
2	味覚・嗅覚の異常、倦怠感がある	出席停止	症状が改善するまで
3	咳や鼻水が多く出ている	出席停止	症状が改善するまで
4	職場で感染者が発生した（濃厚接触未定）	登園可能	帰宅後要注意

◎コロナ感染の疑いがある場合はフロー図に従ってかかりつけ医、または県相談センター☎050-5371-0561に連絡

### ③子ども・家族が感染したら

れんらくアプリの欠席連絡は〈★新型コロナ感染予防（出席停止）〉を選択し、電話もしくはアプリの〈幼稚園への連絡〉→〈★新型コロナ感染及び濃厚接触者の連絡〉で送信して下さい。

1	園児が検査の結果陽性となった	本人は出席停止（概ね2週間） 《学級閉鎖・休園等の基準》 ・1人……感染防止自由登園（バス無し） ・2～4人…臨時休園（預かり保育可） ・5人……臨時休園（預かり保育相談） ※期間はその都度検討します	本人/保健所の指導に従い、PCR検査の結果陰性で保健所指定の観察期間終了まで 休園/拡大防止のため園児の経過観察と園内消毒・今後の対策のための休園
2	同居家族、及び日常で交流のある親族が陽性となった	出席停止（概ね2週間）	保健所の指導に従い、PCR検査の結果陰性で保健所指定の観察期間終了まで
3	本人が濃厚接触者となった。 もしくは濃厚接触者と同等の状況にあった	出席停止（概ね2週間） ※保健所の業務が追いつかず特定がされない状況も生じていますので自己判断を含めて予防に努めて下さい。	保健所の指導に従い、PCR検査の結果陰性で保健所指定の観察期間終了まで
4	同居家族、及び日常で交流のある親族が濃厚接触者となった	概ね1週間の出席停止→経過観察	1週間後に症状がなければ濃厚接触者以外の家族による送迎登園可。 検査推奨

#### ④職員の体調不良や感染があったら

1	幼稚園の職員に発熱などの体調不良があったら	勤務停止 通常開園	症状が改善するまで→通院もしくは抗原検査により陰性を確認して出勤
2	幼稚園の職員が陽性になった	勤務停止 ③-1と同様	保健所の指導に従い、PCR検査の結果陰性で保健所指定の観察期間終了まで
3	幼稚園の職員が濃厚接触者となった	勤務停止 通常開園	保健所の指導に従い、PCR検査の結果陰性で保健所指定の観察期間終了まで
4	幼稚園の職員の家族が濃厚接触者となった	勤務停止もしくは出勤しても園児との接触を避ける	通院もしくは抗原検査により陰性を確認して出勤
5	保育園の職員が陽性になった	通常開園	職員同士の接触状況により該当職員がいる場合は抗原検査

#### ⑤情報公開に関するガイドライン

1	園児または家族が陽性の場合	氏名性別学年等は非公表 ※必要な場合は個別にお知らせ	行動履歴について把握できていることを公表
2	幼稚園職員が陽性の場合	氏名性別等は基本非公表 担当クラスには公表	行動履歴について把握できていることを公表
3	幼稚園の職員が濃厚接触者となった	氏名性別等は基本非公表 担当クラスには公表	行動履歴について把握できていることを公表
4	幼稚園の職員の家族が濃厚接触者となった	公表なし	公表なし
5	陽性となった園児・職員と園内で（保健所による濃厚接触者の特定はないが）密接な接触があった園児	個別に連絡し、概ね1週間の出席停止を要請	一週間後に体調不良が無い場合登園可。検査推奨

※感染拡大により自宅療養者の対応で保健所が濃厚接触者を追えない状況になってきています。そのため、保健所が濃厚接触者を特定できない場合でも、濃厚接触相当であると園で判断した場合、⑤-5のケースが当てはまります。

#### 〈幼稚園の感染対策〉

- ・保育園児との交流を避けて保育を行います（県の警戒レベルが5以下になるまで園庭の使用時間を分ける）
- ・毎朝キントルで遊具を消毒します。（キントルは通常で1週間抗菌効果があるとされています）
- ・ドアや室内、園バス内の消毒は今まで通り毎朝実施。
- ・手指消毒とうがいを徹底。
- ・昼食は間隔を空けて黙食を心掛け、保育者は距離をとって昼食をとります。
- ・学年間での交流をできるだけ避けます。全園児で集まる活動もできるだけ制限します。
- ・幼稚園内で行う課外活動を9月末迄停止。

#### 〈今まで通りの感染対策をお願い致します。〉

- ・毎朝の検温・体調観察をより慎重に行ってください。
- ・登園時のマスク着用と予備1枚を毎日持参して下さい。●記名をお願いします！
- ・汚れた不織布マスクは園で捨てるようにします。布は持ち帰ります。  
（マスクは活動によって適宜着脱します。）
- ・保護者の方は送迎時にマスク着用で、職員との会話や園内での滞在時間を短くして下さい。



HARAMACHI Kindergarten

デルタ株の感染力のため、新型コロナ感染者が増加し、  
 沼津市の保健所も自宅療養者への対応で手一杯で、  
 幼稚園や保育園の濃厚接触者の特定はできなくなりました。  
 第一報の頃は、夜7時過ぎに電話が来て、ヒアリングにより特定されたのですが、  
 今は、保健所の特定ができないため、  
 園で濃厚接触者相当の園児を選定して個々に自粛と経過観察を  
 保護者をお願いするよう形になりました。  
 インフルエンザの規定だとクラスの3分の1が罹患した場合学級閉鎖という規定ですが、  
 それではとくにクラスター発生状態なので表のように1名から適用としました。  
 園でこれらを決めるのは重荷ですが、これも現実です。



原町幼稚園 園長 鶴谷圭一（60歳）  
 HP : <http://www.haramachi-ki.ed.jp/>  
 MAIL : office@haramachi-ki.jp  
 Twitter : @haramachikinder  
 Instagram : haramachi.k

▶ご感想・ご意見ご質問等ありましたら

気軽に連絡ください。✉ office@haramachi-ki.jp

「幼稚園の現場から」ラインナップ

- |                             |                                    |
|-----------------------------|------------------------------------|
| 第1号 エピソード (2010.06)         | 第22号 〔休載〕                          |
| 第2号 園児募集の時期 (2010.10)       | 第23号 大量に焼き芋を焼く (2015.12) 2019      |
| 第3号 幼保一体化第 (2010.12)        | 第24号 お話あそび会その1 (発表会の意味)            |
| 第4号 障害児の入園について (2011.03)    | 第25号 お話あそび会その2 (取り組み実践)            |
| 第5号 幼稚園の求活 (2011.06)        | 第26号 お話あそび会その3 (保護者へ伝える)           |
| 第6号 幼稚園の夏休み (2011.09)       | 第27号 おもちゃのかえっこ (2016.12)           |
| 第7号 怪我の対応 (2011.12)         | 第28号 月刊園便り「はらっば」 (2017.03)         |
| 第8号 どうする保護者会? (2012.03)     | 第29号 石ころギャラリー (2017.06)            |
| 第9号 おやこんぼ (2012.06)         | 第30号 幼稚園の音楽教育 (その1・発表会) 2017.09    |
| 第10号 これは、いじめ? (2012.09)     | 第31号 幼稚園の音楽教育 (その2・こどものうた) 2017.12 |
| 第11号 イブニング保育 (2012.12)      | 第32号 幼稚園の音楽教育 (その3・コード奏法) 2018.03  |
| 第12号 ことばのカリキュラム (2013.03)   | 第33号 〔休載〕 (2018.06)                |
| 第13号 日除けの作り方 (2013.06)      | 第34号 働き方改革・一つの指針 (2018.09)         |
| 第14号 避難訓練 (2013.09)         | 第35号 働き方改革って難しい (2018.12)          |
| 第15号 子ども子育て支援新制度を考える        | 第36号 満3歳児保育について (2019.03)          |
| 第16号 教育実習について (2014.03)     | 第37号 満3歳児保育・その2 (2019.06)          |
| 第17号 自由参観 (2014.06)         | 第38号 プールができなくなる! ? (2019.09)       |
| 第18号 保護者アナログゲーム大会 (2014.09) | 第39号 跳び箱 (2019.12)                 |
| 第19号 こんな誕生会はいかが? (2014.12)  | 第40号 幼稚園にある便利な道具〈紙を切る〉 (2020.03)   |
| 第20号 ITと幼児教育 (2015.03)      | 第41号 コロナ休園 (2020.06)               |
| 第21号 楽しく運動能力アップ (2015.06)   | 第42号 コロナ休園から再開へ (2020.09)          |
|                             | 第43号 ティーチャーチェンジ (2020.12)          |
|                             | 第44号 除菌あれこれやってみた (2021.03)         |
|                             | 第45号 マスクと表情 (2021.06)              |
|                             | 第46号 感染予防と情報発信 (2021.09)           |